



～学び 愛し 翔る 西郷小～

西郷富士

今年も HP 閲覧をお願いします！



西郷小学校

令和元年 第 4 2 号

令和 2 年 1 月 9 日

文責 校長 田中裕子

保護者 地域の皆様

初春の慶びを謹んで申し上げます

正月 (もつき) 立つ春の初めに かくしつ

相 (あひ) し笑みてば 時じけやも

大伴家持

(正月、新春の初めに、このようにしつこ互いに微笑み合ってもらえるのは、時宜にあつたことですよな？)

これは日本最古の万葉集に歌われている新年を寿ぐ和歌です。千年以上も前とは思えない、というよりも人は同じことを思うものだ感慨深いものがあります。

さて、皆様はどのようなお正月を迎えられましたでしょうか。子ども達は、十四日間のお休みを存分に楽しんだことと思いますが、中には勉強をたくさんした、学校の方が楽しいという子供達も少なからずいて、私たちが子供時代とは様変わりしていることを感じました。

さて、三学期はわずか五十二日と期間が短いながらも送る会や卒業式等の行事もあり、慌ただしく感じる学期です。その中でも、一つ一つを丁寧にする心をかけ、子供達の成長のために努力していく所存です。また、西郷小学校区の益々の発展を祈り、力を尽くしたいと思います。

どうぞ今年もよろしく願います。

西郷小職員一同



西郷小校区の素晴らしさ

よく地域と学校のことを表す時に、「地域は土、教職員は風」と言われます。これは、地域という土壌が根底となることと、教職員は異動はありますが、そこに何某かの影響を与える存在であることを表す言葉だと思います。

始業式の日、何十人の子供達が新年の挨拶をしてくれました。今までこういう挨拶をもらった記憶がありません。これは教えてできることではなく、家庭や地域で育まれた文化によるもので、西郷小校区の中高生も欠かさず挨拶をしてくれるということにも表れています。

そこに根付く文化の価値、そしてそれを継承していくことがどれだけ貴重か…… この校区に風の存在として働かせていただいていることの有り難さを改めて感じた始業式の朝でした。

始業式では……

2020 年はオリンピック・パラリンピックイヤーということで、西九州大学在籍の車椅子テニスのプロである、大谷桃子選手を紹介しました。現在国内ランキング2位、世界ランキング10位ということで、パラリンピック出場はもとより、メダル獲得が期待されている選手です。

18才で病気のため車椅子とされましたが、そこから練習に次ぐ練習で、現在若手の有望株とされています。パワーフレーズは「努力は裏切らない」。その言葉のとおり、月曜から日曜まで練習をされています。

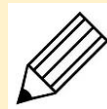
子供達にも、自分の夢、やりたいことに向かって努力をすることを大切に3学期も頑張ってもらいたいという話をしました。ぜひ、子供達、そして大谷選手にも応援をお願いします！

「物を大切にする」

これは今月の生活のめあてです。坂口先生からイチロー選手のことを紹介しながら、物を大事にすることは日本人の良さの一つですとの話がありました。物を大切にすることは「人を大切にする」ことにつながる習慣だと思います。

大事な物を長く使う……この知恵を次世代にも伝えていきたいですね。

まずは、「記名をする」ことからだと思います。ご家庭で今一度筆箱点検から始めてみてください。



車いすテニス 大谷選手

